

# クマの被害にあわないために

## 人身被害の事故防止

### (1) クマに出会わないために

被害にあわないためには、まずクマに出会わないようにすることが一番重要です。

#### ◆ クマ出没情報に気をつける

山に入る前には、新聞やテレビ、あるいは地元の人に聞いてクマの出没情報に気をつけ、危ない場所には近づかないことが一番です。

#### ◆ 音を出しながら歩きましょう

山に入るときはなるべく複数で、しゃべりながら歩く、クマよけの鈴をつける、手をたたく、ラジオを鳴らすなどクマに人間の存在を知らせるのも効果的です。

#### ◆ 日の出、日没前後はなるべく山に入らない

クマが活発に活動する時間帯です。  
(人身事故は午前中に多く発生しています。)

#### ◆ 水流の激しい沢や風雨の強い日は要注意

お互い物音が聞こえず、ばったり出会う可能性があります。

#### ◆ クマの足跡や食べ跡などの痕跡を見つけたら気をつける

近くにクマがいる可能性があります。すぐ引き返しましょう。

#### ◆ 山菜採りなどに夢中にならない

すぐそばで、クマも夢中で山菜を食べているかもしれません。

※① 入山者は、残飯・生ゴミを捨てないようにしましょう。(味をしめたクマがエサを求めて里に下りてきます。)

② クマの生息域に近い地域では、家庭ゴミの管理や農作物残渣(処分野菜等)の処理に注意しましょう。

③ 突然の遭遇に対処するため、入山の際にはクマ撃退スプレー、ナタ、棒(傘等)などを携帯するようにしましょう。

## (2) クマに出会ってしまったら

もし、クマに遭遇してしまったときは、とにかく落ち着いて状況を判断しましょう。

### ◆ 遠くにクマを見つけたら

静かにその場を立ち去りましょう。

### ◆ クマがこちらに気づいたら

静かにしていれば、ほとんどの場合、クマは立ち去ります。

### ◆ クマがこちらに近づいてきたら

クマの動きに注意しながら、ゆっくりと後退してください。

### ◆ 走って逃げたり、大声、石投げなどは危険

クマを刺激しないことが大切です。クマの足は人間よりずっと速く、逃げるものを追いかける習性があるので、至近距離で出会った場合もすぐ逃げない方がよいと言われています。

### ◆ 子グマには決して近づかない

子グマのそばには、必ず親グマがいます。親グマは子グマを守ろうとするので、非常に危険です。決して近づいてはいけません。